

会 議 要 旨

会 議 名 称	令和５年度第１回加古川市環境審議会
開 催 日 時	令和５年６月１９日（月）午後２時から３時１０分まで
開 催 場 所	加古川市役所 南館 ３０１会議室
出 席 者	<委員>（敬称略、順不同） （出席者：１３名） 下村千登勢、成川利幸、前島克彦、丸山良作、山口大介、山本亜也夫、石田弘明、井関崇博、奥勇一郎、豊田陽介、富岡頼史、堀江智恵子、守家和孩子 （欠席者：６名） 河合豪史、工藤仁、清野未恵子、佐竹邦子、松岡智郁、西川孝晴 <事務局> 新濱義孝、福山新一郎、小山泰典、藤本雅彦、畑悦子、松本勝稀
会 議 次 第	１ 開 会 ２ あいさつ ３ 議題 （１）ゼロカーボンシティの実現に向けた加古川市のロードマップ（案）について （２）第３次加古川市環境基本計画（改定版）（案）について ４ その他 ５ 閉会
配 布 資 料	資料１ 加古川市環境審議会委員名簿 資料２ ゼロカーボンシティの実現に向けた加古川市のロードマップ（案） 資料３－１ 第３次加古川市環境基本計画の主な変更点について 資料３－２ 第３次加古川市環境基本計画（改定版）（案） 資料３－３ 第３次加古川市環境基本計画（改定版）（資料編）（案）
傍聴者の数	３人

審議内容（発言者、発言内容、審議経過等）	
	1 開会 2 あいさつ 奥会長よりあいさつ 3 議事 （1）ゼロカーボンシティの実現に向けた加古川市のロードマップ（案）について
（事務局）	温室効果ガス排出量 48%削減に向けた年度ごとの取組を、ロードマップを基に説明。
（委員）	取組の開始時期に違いがあるが、緊急性の高い取組から優先して行う等、理由があるのか。
（事務局）	市民のニーズや緊急性が高いものから優先して実施する。また、トラックの電動化などは普及しておらず、技術革新が待たれる。また、すべての事業を一度に行うには、組織体制が厳しい。
（委員）	エコクリーンピアはりまのバイオマス発電導入促進は、現時点ではできておらず今後取り組みたいということか、それとも既にそういう設備があり発電ができている状況なのか。
（事務局）	現在、エコクリーンピアはりまではバイオマス発電を行い、電力会社に売電を行っている。バイオマス電力はCO ₂ 排出量をゼロにカウントできる有効な電力の為、加古川市だけではなく2市2町でうまく活用できないか、これから検討を進めていきたい。
（委員）	すでにバイオマス発電ができるのであれば、剪定枝のバイオマス利用が積極的にできるのではないか。
（事務局）	剪定枝の使用について、バイオマス発電やバイオエタノール、堆肥化等様々な使い方があるが、加古川市で回収できている量は十分な量ではないため、今後剪定枝の有効な活用方法を検討していきたい。

(委員)	太陽光発電設置補助は事業者にも補助していくということか。
(事務局)	まだ検討段階ではあるが、ゼロカーボンパートナーシップ制度において市と協定を締結した事業者への支援を検討している。
(事務局)	(2) 第3次加古川市環境基本計画（改定版）（案）について 第3次加古川市環境基本計画（改定版）について、地球温暖化対策部分を中心に改定ポイントを説明。
(委員)	各部門別の削減目標の森林吸収源の部分に単位表記がなく、わかりづらい表現ではないか。
(事務局)	表の右上に千tと表記しているが、それぞれに千tと表記したほうがよい。その場合、一つ一つに単位を入れてしまうと見づらくなってしまうという懸念がある。
(委員)	森林吸収源という項目の下に単位を表記すれば、その行は千tとわかるのではないか。
(事務局)	右上の単位を削除し、森林吸収源、2013年度基準、2030年度目標、削減量にそれぞれ千tと修正する。
(委員)	将来の新しい豊かな暮らしというコラムの中で、防犯面での生活向上と記載があるが、どのようなことが期待できるのか。最先端科学で防犯面が豊かになる等イメージがあれば教えて頂きたい。
(事務局)	窓が二重窓になることで窓を割る手間が増えるなど、防犯面の効果があると言われている。
(委員)	加古川市指定ごみ袋にしてから、実際ごみは減っているのか。
(事務局)	加古川市では、指定ごみ袋を令和3年6月から導入している。指定ごみ袋導入前と導入後の1年間の家庭から出る燃やすごみの量を比べると、4%程

(事務局)	度減少している。他市については高砂市が指定ごみ袋を導入する予定であると聞いている。 今日欠席の松岡委員から事前に質問を受けたので紹介する。 1つ目は、コラム②のごみ・資源物のゆくえについて、数値の整合性が合わない点があるが、数値の根拠はどうなっているかと質問があり、こちらは、ごみ破碎の際に散水する水分等を含むため、受入量よりもその後のごみの重量が増えているものである。 2つ目は、コラム⑨の脱炭素化による地域課題の解決と経済的メリットについて、営農型太陽光発電設備としてキクラゲの栽培を取り上げているが、具体的な会社名を紹介してはどうかという提案をいただいたが、加古川市役所の計画のため、個別具体的な会社名を紹介するのは控えさせていただく。 3つ目は、担当課ごとの取組施策の中で、温室効果ガス削減するという項目があるが、本計画の全体的な目標と重複しているように思うので、担当課の取組施策には、「市役所の」という言葉を追記してはどうかと提案をいただいたので、市役所の温室効果ガスを削減というように修正を行う。 また、担当課ごとの取組施策の中の、廃棄物に関する循環を健全にするという項目について、市役所の取組と市民の取組が混在しており、わかりにくいのではという意見があったが、市の取組については、括弧書きで、加古川市環境配慮率先実行計画と記載するなど、市役所と市民の取組を差別化しているので、このままの表現にさせていただく。 4 その他 次回8月の加古川市環境審議会の開催について連絡。 5 閉会
-------	--